

教職員・院生版生協だより

かけはし

No. 371

2025年3・4月号

発行 名大生協理事会

編集 名大生協教職員委員会

☎学内線 7540 学外線 781-1111

ご卒業

おめでとうございます



＜今回の注目記事＞

国際開発研究科リレーエッセイ：交換留学生体験記
カンピラパーブ スネート准教授

日本史×科学：第4回奈良の大仏と古代の金属加工技術

本棚をながめて：ショーペンハウアー「読書について」

委員長の帰ってきたランニングライフ：
年忘れ庄内緑地公園マラソン

生協からのお知らせ：名大グッズ紹介

かけはし交流会・参加者募集します！

なごねこ便り・里親募集中～

ねこ写真ももちろんあるよ！



交換留学生体験記

国際開発研究科 カンピラバープ・スネート

日本で生活してずいぶん経ったが、私の最初の日本体験は長崎での生活であった。長崎の町は坂が多く路面電車が走っており、映画の1シーンに入り込んだ気がした。そこでの生活はすべてが新鮮で、ワクワクする毎日であった。その時の日本体験を振り返ってみたい。

日本語教育

私の日本語学習は、高校時代の親友の実家が経営する語学塾での英語受験対策がきっかけだった。親友から「日本語コースもあるけど、興味ない?」と誘われたのが始まりだ。『よみかた』という教科書を使い、親友の父が直接指導してくださった。ひらがなもままならない私を厳しく叱責し、私は涙を流しながら読み続けた記憶がある。今ならアカデミック・ハラスメントで訴えられていただろう。教科書を1冊終えた時点で、受験勉強を理由に中断することとなった。

大学進学後は英語とフランス語を専攻しつつ、選択科目として日本語を4コース履修した。「日本語1」は大勢の履修者がいたものの、「日本語4」になる頃には6人程度まで激減していた。私の場合、文法は得意で、リスニング・スピーキング・リーディングは平均的、漢字は特に苦手という具合だった。「日本語4」修了者の中で、唯一私だけが継続して日本語を学び続けた。

この日本語コースの受講が、長崎大学からの交換留学生ルミコさんとの出会いをもたらした。私は彼女の世話役を買って出て、充実した交流を重ねた。ちょうど彼女の帰国時期に、長崎大学による1年間交換留学生募集の知らせを知り、即応募・採用されたことで、私の日本留学、そして長期滞在の道が開かれた。

1989年にタイの大学を卒業後、すぐに長崎大学へ向かった。当時、長崎大学の留学生数は100名程度で、その大半が中国や台湾からの留学生だった。東南アジアからの留学生は珍しかったようで、大学から留学生宿舍への帰り道、商店街の方々から頻繁に声をかけていただいた。山盛りの果物を販売する店では、いつも気前よくおまけをつけていただいたものだ。

来日後2か月あまりの時期に、日本語の先生から長崎日本語弁論大会出場への案内をいただき、日本語能力試験1級保持者のシンガポール人留学生クリスが支援を申し出てくれた。私たちは共にアイディアを出し合い、クリスの提案で「亭主元気で留守がいい」というテーマに決定した。日本語の先生と幾度の練習を重ねながら、クリスとの毎晩の特訓により、普段の会話力以上の流暢なスピーチを実現できた。結果は4位だったが、特にクリスが心から喜んでくれたことが印象的だった。

知らなかった日本のルール

交換留学時代の興味深いエピソードをいくつか紹介したい。福岡国際空港に到着した際、出迎えてくれたルミコさんと共にタクシーに乗ろうとした。私は何気なく後部座席の右側に向かいドアを開けようとしたところ、運転手から厳しく制止された。「だめだめ」という大きな声に驚いた私に、ルミコさんは「タクシーは左から乗車するの。ドアは運転手さんが開けてくれるのよ」と優しく説明してくれた。2年間の日本語学習でも、こうした具体的な生活習慣については一度も教わらなかったことに気づかされた。

隣室のクリスが友人から自転車を譲り受けた際も、似たような経験をした。二人で大学まで自転車で通えることを喜び、クリスがペダルを漕ぎ、私が後ろに乗って公道に出た。しかし500メートルほど進んだところで、通りがかりの方から「自転車は一人乗りが原則です」と指摘された。戸惑いながらも、その助言に従うこととなった。

日本料理は苦手

私の日本料理との出会いは、長崎留学前にバンコクの日本料理店で友人に連れて行かれた時だった。最初に勧められたお刺身の生臭さに、一口で断念してしまった。この経験が影響し、長崎での生活でも日本料理、特にお刺身は避けていた。食事の選択肢は豚生姜焼き定食、ミートソーススパゲッティ、ラーメンに限られ、日本茶さえも口に合わない日々が続いた。徐々に他の料理は受け入れられるようになったものの、お刺身を受け入れられるようになったのは来日から10年を経てからだった。寿司店で生ものの以外のものばかり注文し、店主に不快感を示されたことは今でも鮮明な記憶として残っている。現在はグルメを自認する私だが、そんな時期があったことを懐かしく思い返している。

忘れられない体験

長崎交換留学は学位取得を目的としないプログラムであったため、観光や交流を存分に楽しむことができた。熊本への交流訪問で訪れた阿蘇山では、美しい自然の中で放牧される牛の群れに魅了された。可愛らしく見えた牛に近づき写真を撮ろうとした瞬間、突如こちらに向かって突進してきた。慌てて車に逃げ込んだ光景は、今でも鮮明に記憶に残っている。

夏休みには東京見学も実現した。幼い頃から特別な愛着を持っていたパンダを上野動物園で見学した際、猛暑の中を歩き回る見物客をよそに、空調の効いた部屋でくつろぐパンダの姿に羨望を抱いたことを覚えている。東京ディズニーランドでは、ミッキーとミニーに出会い、童心に返って喜び戯れた。

留学生活での衝撃的な出来事として、クリスが泥酔した隣室に住むポーランド人研究者にベ

ランダから侵入されかけた事件があった。魅力的なクリスは多くの人々の注目を集めていた。夜中の悲鳴とアラームが留学生会館中に響き渡り、慌ててドアを開けると、クリスが部屋の前でベランダに立っていた男性を指さしていた。日本人チューター、宿舍の管理責任者、そしてポーランド人研究者の受入れ教員が呼び出され、その研究者は即日退去、数日後に帰国となった。当時は恐怖で数ヶ月間、外を見る勇気すら失った。しかしクリスは露出度の高い服装を控えることはなかった。

今振り返ると、その研究者への処分は些か厳しすぎたかもしれない。ベランダへの侵入はあったものの、室内への侵入や実害はなかったためだ。彼がチェルノブイリ原発事故の影響で歯を失うなどの健康被害を受けていたことを今でも記憶している。

長崎時代には他にも数多くの思い出深いエピソードがあるが、何より、ルミコさんの存在のおかげで、私はほとんど困難を感じることなく留学生活を送ることができた。留学生には、このような親身になってくれる友人の存在が、充実した留学生活を送る上で不可欠であったと痛感している。異文化生活ではぜひ友人との交流を大切にしてほしい。

帰ってきた本棚をながめて(3)

読書について(ショーペンハウアー著 光文社 2013.5.13)
ポテロ作品集(2022 年名古屋美術館で開催されたポテロ作品展で購入)

今回の本は前回取り上げた幸福論を読んで、彼の他の作品も読んでみたいと思って買った本だ。読みながら、この本を本当の意味で読むためにもう一度ドイツ語を覚えることに挑戦してみようかと思ってしまったくらいだ。
読書とは他人の考えで自身を満たすことである。それよりも大切なのは自分の頭で考えることだ。その一文を読んだとき私はとても強い衝撃を受けた。読書をしないこと、最近の人々が本を読まないことへの嘆きや警鐘は聞いたことがあっても、本を読むこと自体への警鐘は初めてだった。しかし、彼のいう事はまさにその通りだと思う。私自身も本を読むことを肯定的にしかとらえたことはなかった。
一方でゼロからは考えることはできないかもしれない。考えるためには考えるための部品が必要だ。しかし、たくさん、暇さえあれば本を読んで他人の考えで頭を満たしてもそれだけでは、ただそっくりなだけのモノマネに過ぎない。ポテロの作品のようにはなれない
部品は自分なりにつなげて捏ねくりまわして自分なりの肉付けをしてこそ、その読書の価値が生まれると思う。

ポテロ作品集は著作権の取り扱いが分からなかったので挿絵等はなしです。しかし私が人生で初めて買った美術展の作品集です。関心のある方は、GOOLE 先生に尋ねてみたり、もし展示会に出くわすことがあれば行ってみてください

★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★

かけはしの会やります

昨年2回開催した、かけはし執筆者の会の拡大版「かけはしの会」を8月上旬、前期試験終了後、かつ、オープンキャンパス開催前に開催します。会場はいずれかの生協食堂で行う予定ですが、日程、会場、参加費などの詳細は現在検討中なので、No.372以降のかけはし紙面で詳細はお知らせします

カラー写真はこちら

(https://www.nucoop.jp/coop/coop_399.html)



ネコ写真集～各地のネコ歩き～

●まずは安曇野から。寒い中での外ネコのネコライフは大変そう

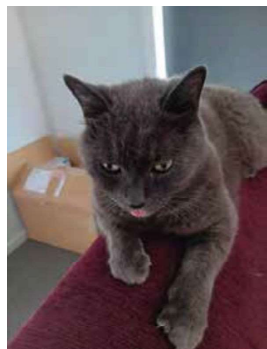


左から
モンちゃん、ランちゃん、アミちゃん



外ネコ左から
ノロ太、パン太

●ニュージーランドから



ピユ様



ミリー様



らいむ

●和歌山から柑橘ネコ



きよみ

なごネコ便り(27)【里親募集】

名古屋大学ねこサークル【なごねこ】では、現在「ごまちゃん」という子猫の里親を募集しています。ごまちゃんは推定生後半年ほどの甘えん坊な女の子で、最近はカービィのおもちゃで遊ぶのがお気に入りです。詳細は添付のポスターをご覧ください。里親になることにご関心のある方は、nagoyauneko@gmail.com までご連絡をお待ちしております。

里親を探しています！




ごま
ちゃん
♀



年齢 …… 6か月くらい

性格 …… 人懐こく、元気いっぱい

備考 …… 猫エイズ・白血病陰性
4種混合ワクチン接種済み

興味のある方は nagoyauneko@gmail.com までご連絡ください



遊ぶのも大好き！

なごねこ Instagram



@medaneko

なごねこ



名古屋大学
ねこサークル

日本史×科学 第4回「奈良の大仏・古代の金属技術」

文責：鳥飼

奈良と言えば東大寺の大仏が有名ですね。金属を溶かし型にはめて作る「鑄造」の仏像としては世界最大で、銅の割合が93%、錫が約2%と青銅の部類に入りますが、銅の割合が非常に高いです。現在は銅像のお姿ですが、建造当時は全身金ピカの金鍍金（メッキ）を施されていたと言います。しかし、大仏は2度焼失（平安時代・平清盛の頃（治承の兵火・南都焼き討ち 1180）と戦国時代・松永久秀（永禄の兵火 1567））しており、江戸時代に再建されたときには鍍金をせず現在に至っています。焼失といっても、建造当時の大仏は腰から下の部分は残っています。また、金鍍金は水銀を使ったアマルガム法を使って塗布したと言われています。

<水銀の話>

さて「水銀を使ったアマルガム法」と書きましたが、大仏のようなとても大きいものに使うのなら、大量の水銀が必要だったはず。日本国内で大量の水銀が採掘できたのでしょうか？ 金山・銀山の鉱山なら世界遺産になった石見銀山・佐渡金山は有名ですが、実は、水銀の産出地は奈良・和歌山・三重県にある辰砂（しんしゃ）鉱山です。辰砂鉱山は中央構造線沿いに多く分布しています。朝廷のお膝元と言える地域にあり、古代人にとっては身近な存在だったようです。古代の税制度「租（米）・庸（労役もしくは布など）・調（絹・布または特産品）」の調として記録されています。朝廷として一定の需要があったと考えられています。

<辰砂とは>

水銀の天然化合物「硫化水銀（Ⅱ）」のことで、化学式は「HgS」です。鮮赤色～赤紫色で、常温で安定的、岩絵具の材料にもなります。古墳の内壁や朱肉の材料に使われました。古来、丹（に）と呼ばれたそうです。

もちろん水銀の材料になります。辰砂の鉱石を細かく砕き、400～600度に加熱すると水銀蒸気が発生するので、これを冷却凝縮させれば水銀を精製できます。水銀や辰砂が不老不死の薬とされていた時代もあります（始皇帝：丹薬、三条天皇：金液丹。ただし金液丹は秘薬のため一部の原料しか分かっていない）。

辰砂鉱山の話：三重県総合博物館

<https://www.bunka.prefmie.lg.jp/museum/82906046593.htm>

神社の朱色について：トリスミ集成材株式会社

<http://www.torisminet/column/792/>

三条天皇の病氣：金液丹とは（WEB 太陽）

<https://webtaiyo.com/culture/3978/>

（最終的には脳腫瘍だったのでは：Neurological Surgery 脳神経外科 20 巻 12 号）

<https://webview.sho.jp/puma/detail/abs/10.11477/mf1436900564>

<金アマルガムの鍍金方法>

水銀に金を含む鉱石を混ぜると、金が分離して水銀と混ざって合金ができます。加熱すると水銀が蒸発して金が残る（金の精練）。仏具や小さめの仏像を金鍍金するなら、作業手順が少ないのでこれで十分でしょう。紀元前 700 年頃東ヨーロッパで、紀元前 300 年頃古代中国で、日本では古墳時代に伝来したと考えられています。

※金の製錬方法は「灰吹法」もあります（紀元前 4000～前 3100 年頃バビロニア、日本では飛鳥京に痕跡あり。戦国時代の金山・銀山開発ではこちらが使われ、金塊・金箔などに加工したようです）。

<大仏の鍍金手順>

まず木材などで大まかな形を作り、粘土で最初の造形をします。乾いた後に溶けた銅を流すための外型（鑄型）を作成し、型を外したら最初の塑像の表面を、銅を流す分だけ削ります。鑄型を戻し、鑄型の高さまで土を盛り上げて土台を作って、銅を溶かす炉を置いて銅を流し込みます（鑄造）。

（大仏の作成手順：東大寺公式ページ）

<https://www.todaij.or.jp/kids/kids2-2.htm>

銅の大仏の表面を磨きます。水銀に金鉱石を混ぜて合金（金アマルガム）を作ります。これを大仏の表面に塗り、火で炙って水銀を飛ばして鍍金します。鍍金後に表面を磨きます。記録によると鍍金作業は 5 年かかったようです（752～757 年）。使用した金は 110kg、水銀はその 5 倍 560kg（鍍金した量の最低限、実際には作業容器などにあまりが出るはず）と推定されます（当時の大仏と蓮華座の表面積と、鍍金の厚さ 5 μm で計算）。

<中毒問題>

作ったばかりの仏像に対し魂入れの法要をすることを「開眼供養」と言います。日本で初めて行った開眼供養は、この東大寺の大仏だったようです。開眼供養にはインド出身の高僧を呼んで行うため、あらかじめ日程が決まっていた（752 年）、鍍金作業が終わる前に大仏殿が完成しています。そして大仏殿の中で引き続き鍍金作業が行われていました。蒸気になった水銀は大仏殿内に滞留し、多くの作業者は水銀中毒になったらしいのですが、どのくらいの被害者が出たのかという詳しい記録はありません。あるのは、鍍金作業が始まってから、医師・鍼灸師の再教育の指示があった（日本書紀）・諸国の寺で読経をする詔勅があったなどの記録です。

<https://www.asoshiranuinet/mainamata/com18.htm>

（石原信夫、奈良大仏への金鍍金では金属水銀蒸気中毒が起きていた・鍍金作業に於ける曝露濃度の試算、熊本大学文書館・水俣病研究プロジェクト 2020）

（石原氏の寄稿論文のリスト・プロフィールなどについてはこちらから）

<https://www.asoshiranuinet/mainamata/com07.htm>

<考察>

水銀の蒸発は 350℃、表面で炙れば 100℃以上にはできませんが、1 日に塗布する面積は 0.6 平米程度（表面積を 5 年の日数で割った値）。「塗布作業のすぐそばで、100℃以上の熱源（木材や木炭など？）で炙るのは塗布作業にとって危険」という記述が、上記石原氏の寄稿にあります。アマルガム塗布作業と塗布面の加熱作業をある程度離して行えばできるでしょうか（この場合 1 日当たりの塗布面積はもう少し広くなる）。アマルガムを塗布した表面ではなく、裏側から木炭で炙ると 60℃程度になるようです。この場合、水銀はまだ多くが大仏本体に残存したかもしれません。（常温でも水銀は徐々に気化しますが）蒸発した水銀はどこへ行ったのでしょうか（大仏殿内部に付着、または中毒者の体内から埋葬すれば土壌に？）。最初に書いたように、大仏殿は 2 度焼け落ちています。この時焼け落ちた部分の水銀は十分な加熱状態で蒸発し雲散霧消しています。現代の大仏殿や後の時代に復元した大仏には、鍍金をしていないので見つかりません。しかし現代行われている年末行事の「お身拭い」の煤の中に金や水銀の合金が含まれているようです。もししたら当時から残っている部分には鍍金が残っているという物的証拠なのではないでしょうか。

<飛んだ水銀の行方についての科学研究>

ちなみに、水銀や銅などの重金属の含有量を古土壤中に精密化学分析(ICP、ICP-MS、AAS など)をした論文があります。

紹介ページはこちら

<https://www.aoriu-tokyo.ac.jp/research/topics/2014/20140703.htm>

原著のページはこちら

<https://progearthplanetsci.springeropen.com/articles/10.1186/2197-4284-1-15>

古土壤は地下何mのものを掘削している(奈良市教育委員会(2011)や榎原考古学研究所(2012)による調査)と書いているので、古土壤サンプルについての偽りはないのでしょう。この論文の筆頭著者は川幡教授(東京大学大気海洋研究所)です。内容は、水銀・銅の濃度は限定的で、現代の環境基準では問題ないとのこと。ただし鉛については、平城宮や、平城京よりも南に10kmも離れた地点でも環境基準値を超えている、ともあります。

この論文は2014年に発表されたものですが、このあとに続く論文は私が見る限り見つかりません。元々学生の卒業論文から編集したもののようです。続けて研究した学生はいなかったのでしょうか。

<大仏の主原料の銅の話>

大仏の主原料の銅については、原産の鉱山は「山口県の長登銅山」と特定されています。和同開珎などの古銭の材料にも使われているものです。長登銅山産の銅である根拠は、不純物の砒素の濃度と、鉛の同位体比によります。

長登銅山産の銅の特徴は2つあります。1つ目は、砒素の濃度が5%もあることです。銅の融点は1083度ですが、5%砒素が入ると1000度程度になり、高出力の燃料や燃焼方法がない古代において融点が下がることは高い優位性があります。2つ目は、この銅山は石灰岩大地(秋吉台など)に近いので、石灰分も多く混じっていることです。これは溶かした際、粘性が下がり扱いやすくなります。現代ではこれをフラックス(融剤)効果と言います。鉄・銅の精錬に石灰岩が使われています。

文献:古代日本の超技術、志村史夫、講談社ブルーバックス

<ポッドキャスト・YouTubeでもどうぞ>

このネタを元に、Spotifyでポッドキャスト配信、YouTubeでも配信をしています。こちらはやや軽めの内容で編集しました。

Spotify



YouTube



生協職員紹介 第43回

■自己紹介

いつも生協をご利用いただきありがとうございます。私は生まれは静岡県伊東市、大学からは山形に12年おりました。山形大生協から移籍する形で2024年9月より名古屋大学生協に着任いたしました。大学生協の購買業務の中でも特に食の部分の大きく支える役割のCVS部門の店長として、まだまだ至らないところばかりですが日々精進しています。

■どんな仕事を?

北部購買CVS部門の商品計画やスタッフの指導などをしております。組合員の皆様に喜んでいただけるように、目新しい商品や特別な企画商品を重視して店舗運営に臨んでいます。特に食品は品切れを起こさず、ほしいものを手に取ることができる満足度の高い店舗になれるよう努めています。

■趣味・休日の過ごし方

お喋りが好きで、友人とTRPGというゲームをして遊ぶことが多いです。また、運転が好きなのでいろいろなところへドライブを楽しんでいます。東海地区をすべて回るのがひそかな目標です。

■読者の皆さんへひとこと

研究室で実験をしたり計算をして論文を書いたり、頭を使って疲れることも多いかなと思います。北部購買は夜7時まで営業しておりますので、リフレッシュのためにも足をお運びくださいね!



北部購買CVS
店長 岩川 竜也

○北部購買 Polaris Shop

※営業時間については
生協ホームページにてご確認ください。
<https://www.nucoop.jp/>

名大グッズ紹介 第43回

シェニール織ハンカチ (豊田講堂)

ドイツの伝統織物シェニール織。「ホットマンシェニール」は1985年にドイツの老舗シェニール企業「アルパロー社」から技術と設備の全てを継承し、企画から色の配合、染色、織り、仕上げまで全ての工程を自社工場で一貫してつくり上げています。

今回、名古屋大学のシンボルである豊田講堂を、手織りならではの温かみと繊細な美しさで表現しました。(大きさ28cm×28cm)化粧箱に入れてあり、贈り物に最適です。



販売価格: 3,500円(税込)

委員長の帰ってきたランニングライフ(2)

カラー写真はこちら(https://www.nucoop.jp/coop/coop_399.html)



370号でやっと再び走り始めましたと書いてから2か月。引き続き順風満帆ではない

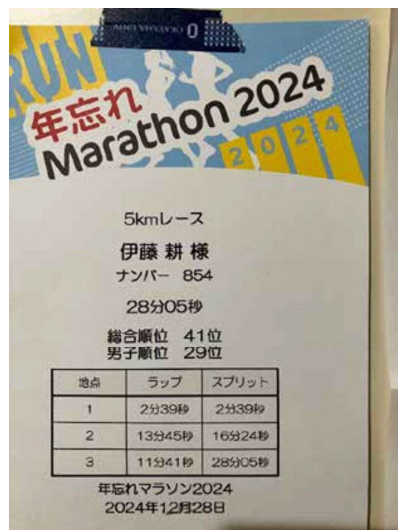
ものの、継続して走れています。12月28日には久しぶりにレースにも参加しました。今年は富山マラソンに参加できるといういなと思っています

12月28日に参加したのは、年忘れ庄内緑地公園マラソン。ドイツに住んでいる中学の同級生から、一緒に出ようと誘われたので参加しました。とはいえ、彼は走り始めて4年間大きな故障もなく、順調に走れているので、同じペース・同じ距離はとても走れないので私は5km、彼は10kmに出場し、スタート地点が違うため途中で合流し、5kmのゴールまで一緒に走る約束でスタートしました。私がゆっくり走ればすぐに追いつかれるだろうと思っていたものの待っている時間は長いもので、なかなか追いつかれない。万が一見落とししたら、もったいないと思い500mくらい走ったあと、沿道で彼が追いついてくることを待つことにしました。しばらくすると追いつかれたので、その後4.5kmは5分30秒/kmくらいのペースで走ることができ、無事に同級生とも一緒に走ることができました。今はおおむね月間45kmくらい走れているので、毎月10~20kmずつ走行距離が増えていけば、11月の富山マラソンまでにはマラソンを完走できるくらいの練習量になるのではないかと期待しています。

追記:1月29日にここまで書きましたが、1月30日に書きたいことがあったので追記。

久しぶりに東山一万歩コースに走りに行ってきました!!なんと、恐らく2年以上ぶりかもしれせん。めっちゃ長く感じました。途中で脚が産まれたての小鹿のようになりました。でも何とか無事に大学まで帰ってこられました。

次回も走ったことを記事にできるといういなと思っています。そう考えていた時に、ふと思いました。以前は「長く走る」というと、長い時間や距離を走ることしか考えていませんでした。しかし、「長い」という形容詞には、長短の長さにも「丈が長い」のようなものと、「距離が長い」のような長さがあり、時間的な長さにも、「連続して長い時間走る」というようなまさに時間の長さの場合もあれば、「20歳から80歳までの長い間走っています」というような「期間」という時間の長短を表す場合もある。とくに期間の長さという長さがあることに気が付き何か自分の中で大きな発見をしたような気持ちになりました。



かけはしの輪



前号の感想

●いつもよりボリュームがあって楽しかったです。ありがとうございます。【はる】
(編) 毎回ボリュームのある冊子にできずごめんなさい。できるだけ楽しく読んでいただけるように精進します!!

●明けておめでとうありがとうございます。本年もどうぞよろしく願い申し上げます。なごねこグッズが気になります!【ポカリ】
(編) 名大祭だけでなく、市内各所のネコ関係のイベントにも参加しているので、そちらでなごねこグッズを買ったりご覧になったりすることもできます。こちらで随時情報をご確認ください。
https://www.instagram.com/nei_dai_neko/
またはインスタグラムでnei dai nekoと検索してください。

●以前よりもページ構成が良くなり読みやすくなったと思いました。ただ、まだページによって書体が異なっていたり、余白の大きさもバラバラで誌面全体に統一感がないなと感じます。

【匿名】
●毎回、楽しく読ませて頂いています。ただ、BサイズからAサイズに変更してからは、頁の配置が間違っていたり、校正が気になります。縦書きと横書きが混在しているからでしょうか?せつかく、良い内容なので、間違いがあるのがもったいないです。【匿名】

(編) 嬉しいコメントと改善の提案をありがとうございます。なかなかかけはしの編集に割ける時間が多くないので、まずは発行することを優先してしまっています。余白の大きさ、フォントの統一など、できることを少しずつ改善したいと思っていますので、今後ともかけはしをご愛読ください。

(編2) かけはしの輪のページを横書きにリニューアルしました!いかがでしょう。

●個人的には側弯症とマンモグラフィの記事を興味深く拝見しました。心身に不調が出てくるお年頃のため、中年以降の健康に関するお話を毎回のコーナーとしてご紹介いただけると次号がよりいっそう楽しみになります!【匿名】

(筆者) 読んでいただきありがとうございます。コメントをいただけて執筆した甲斐がありました。

●私も一度スूपカレーにチャレンジしたいと思いました。美味ささとスリルを味わいたいと思います。【匿名】

(編) 是非トライしてみてください!!上手いと思ったら(いなくても)かけはしの輪に投稿していただけると嬉しいです。

●目の見えないレモンちゃん(くん?)はトイレの場所をただ、覚えていたのでしょうか...?

【匿名】
(編) 彼のいろいろは、家族の私でも謎がいっぱいですが、目が見えないので、嗅覚と聴覚と全身の触覚を頼りに目標までは接近するもののやはり目が見えないので正確な位置まではわからないことがあるように見受けことがあります。なので、トイレも、凡その場所はわかるものの正確な位置は触覚(人間の便器に触れる感覚など)で判断していたのが場所が変わって混乱したのかもしれない。

●日本旅行記には惹き込まれました。一人称のこだわりがさすがでした。【はる】

●日本旅行記、軽妙な語り口で面白かったです。【匿名】

(編) ですよね!!私も編集作業の時に読んでいてその意外性に引き込まれました。山形先生も読んで感想を送ってくださったことを喜んでおられました。

●レモンちゃんの話を読んで動物の習慣は変わらないんだな、とよくわかりました。もし我が家の猫も目がみえなくなったら餌やトイレの場所を不用意に変えてはいけな、と思いました。なごねこサークルの名大祭の様子を知ることができて嬉しいです!ぜひ来年はブースに行ってみてください。【花中島マサル】

(編) ありがとうございます。来年、是非なごねこブースに行ってみてください。また、ネコちゃんの写真もいい写真が撮れたら送ってください。

●私もスूपカレーを頼んでみたいのですが、こぼしそうなので試したことがないです。【匿名】
(編) 購入してすぐ近くで食べるのが一番いいかもしれません。今ならIBCカフェで買ってIBC館1階で食べるとか、北部購買の場合は北部購買の向かいの広場とか。

